

散歩中に知り合った犬連れの女性二人とエロエロ男二人組がその日中にホテルでセックス

暑い夏の真っ盛り。小さな片田舎の街の家電製品の部品を作る工場で勤務する二人の男は、この日休日。共通の趣味である釣りにでも行こうと話しながら散歩をしていた。名前はナオヤとコウタ。彼らは寮付きの職場を探し、遠くの街からこの街へやってきていた。

川沿いの道を歩く二人。川の向こうにはたくさんの木々が茂る中州がある。とりとめもない会話をしながら歩いていると、向こう側から二人の女性が楽しそうに会話しながらこっちへ来る。

短いロープを繋いで柴犬と思われる中型犬を連れている。

すれ違う際、雲一つない爽やかな気候に後押しされるように二人は話しかけた。

もっとも、現在独り身の男二人。女性には興味津々。

「いい天気ですね。どこかへ行かれるんですか？」

嫌そうな顔はせず女性二人は答えた。

「はいっ！！これからこの犬をペットホテルに預けて二人で旅行にいこうと思
っていたんです！！」

短いホットパンツから生足が露出している。

少し外側に膝を広げる二人。

お股を少し前を出して男性二人に見せつけるように。

「セックスしたいの分かる??私たち本当にセックスしたくてたまらないんだ
から」

そう思っているのがはっきりと男性二人に伝わり、ナオヤとコウタはピンピン
にペニスを勃起させた。

勃起がバレないように、股間を手で押さえる。

股間に密着したブリーフパンツを突き破りそうに勃起していた。

女性二人は地元の幼馴染だという。年齢は20代半ばくらいに見えた。

二人の名前はナツミ、ユメカ。予想通りそれぞれ25歳の同級生だとのことだ。

遠くからはるばる仕事のためにやってきた自分たちとは全く違う。

夏の青い目には見えない勢いと、若さが圧倒的に勝り、4人の会話は爽やかさを一気に乗り越した。

内容は男女の愛へ。愛。つまりそれはエッチなこと。

「ホテルかぁー。いいかもね。でも……」

二人がペットの犬に目をやる。

「これをどうしようか……」

結局、旅行の予定は一旦保留ということにして、犬は予定通りあずけて男二人とホテルに行くことに決めた二人。

旅行は4人で遊んでから決める、ということになった。

ペットホテルはペット病院と隣接した大きな場所が、4人が歩いていたその場所のすぐ近くにあった。

犬をあずけ、駅前まで歩いていく。

偶然にもこの日は近くのライブハウス主催の音楽イベント。

駅前には音楽でにぎわっていた。ミニスカートからナツミ、ユメカと同様にむっちむちの太ももを露出した派手な女の子たちがキラキラした目でステージを睨んでいた。ナンパでもされることを目論んでいるのだろうか。

4人揃って並んでホテルの玄関をくぐる。比較的格安で風俗なども呼べるようになっている簡易ホテルだ。

見るからに仲の良さそうな4人。この日出会ったとは一見思えないほど。

ホテルのフロントマンが部屋を案内する。

「4Pするんだろなあぁ……………」

4人の目にはそんな風に映った。

4人はホテルマンを横目にエレベーターへ向かう。

「もちろんそうよ。これから4人でエッチなことばかりするの」

そう4人は心の中で呟っていた。

————— 体験版はここまでです。 —————